

鹿児島大学 遺伝子実験部門年報

第21号
(2024年度)

Annual Report of Division of Gene Research
Kagoshima University
No.21
(2024)



鹿児島大学 先端科学研究推進センター
研究支援ユニット 遺伝子実験部門
Division of Gene Research
Research Support Unit
Center for Advanced Science
Research and Promotion
Kagoshima University

1. 目次

1. 2024 年度の年報を発刊するに際して	3
2. 運営委員会	4
2-1 先端科学研究推進センター運営委員会（2024 年度）.....	4
2-2 先端科学研究推進センター運営委員会名簿.....	5
3. 運営状況報告	6
3-1 利用状況.....	6
◆ 利用者登録数および入館者数.....	6
◆ セミナー室の主な利用状況.....	7
◆ 学生実験室の利用状況（カリキュラム関連の学生実験室の利用状況）.....	7
◆ 実験室等の貸し出し.....	8
3-2 依頼分析サービス DNA 塩基配列解析サービス.....	9
3-3 主要機器の利用状況.....	10
3-4 導入機器等の紹介.....	11
4. 施設行事 2024 年度	12
4-1 技術講習会等の開催.....	12
4-2 利用者登録および利用者説明会.....	13
4-3 その他.....	13
5. 施設利用者業績報告 2024 年度	14
6. 規則集	30
○鹿児島大学先端科学推進センター組織規則.....	30
○鹿児島大学先端科学研究推進センター運営委員会規則.....	32
○鹿児島大学先端科学研究推進センター利用料金規則.....	34

1. 2024 年度の年報を発刊するに際して

先端科学研究推進センター
遺伝子実験部門
部門長 坂巻 祥孝

本年度より遺伝子実験部門の部門長を拝命いたしました坂巻です。長年にわたり施設の立ち上げから運営まで尽力されてきた田浦先生のご功績に深く敬意を表するとともに、その後を引き継ぐ責任の重さを感じております。遺伝子実験部門は、学内外の研究者や学生の皆様が安心して利用できる基盤施設として、研究・教育の発展に寄与してまいりました。今後もその役割を維持・発展させるべく、関係各位と連携しながら、より使いやすく信頼される施設運営に努めてまいります。

あらためて、先端科学研究推進センター 遺伝子実験部門年報(第 21 号)を取りまとめましたことを報告いたします。前号から冊子での発行は取り止め、ホームページでの掲載となっております。昨今の電気代高騰や機器部品・消耗品の値上げ、さらに予算配分の減少などにより、誠に心苦しくはありますが、本年度より利用料金を大幅に改定いたしました。私は兼務教員として施設運営に関与しておりますが、その多くは施設職員の尽力によって支えられています。本年報を通じて、職員の働きぶりや日々の取組をご理解いただければ幸いです。

当部門では設備機器の充実を図るため、経営戦略経費（学長裁量経費）や間接経費を活用し、超音波ホモジナイザーや HPLC カラムオープンなどの機器を導入しました。本年度は多くの機器が故障し、大学からの間接経費配分がなければ、施設運営に大きな支障をきたすところでした。他大学に類を見ない、間接経費をセンターに集中配分する本学の取組が継続されていることに、深く感謝申し上げます。

また、専任教員の不補充による人員不足を見据え、前年度に「支援教員制度」を発足しました。本制度は、利用頻度の高い教員が職員に代わり、新規利用者への機器操作やメンテナンス方法を指導する仕組みです。フローサイトメーターではこの制度が効果的に機能し、利用件数が順調に増加しています。今後は他の機器にも順次拡大を予定しておりますので、支援教員のご依頼を差し上げた際には、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。また、本年度からは技術職員の負担軽減と新たな受託サービス展開のため、新規技能補佐員を雇用しました。DNA シーケンス受託解析をはじめ、各種受託解析の充実と迅速な対応を進めてまいります。

遺伝子実験部門は、利用者の皆様の研究活動によって成り立ち、発展してきた施設です。今後も、皆様のご意見やご協力をいただきながら、より充実した研究環境を提供できるよう努めてまいります。引き続き、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

2026 年 3 月

2. 運営委員会

2-1 先端科学研究推進センター運営委員会（2024年度）

回	開催日	議題		開催形態
1	4月15日～4月19日	議題1	協力研究者の受入について	メール会議
2	6月18日～6月21日	議題1	令和5年度自己点検・評価について	メール会議
		報告1	兼業について	
		報告2	令和7年度概算要求（基盤的設備等整備分）について	
		報告3	令和6年度学長裁量経費の措置状況について	
3	7月26日	議題1	先端科学研究推進センター研究支援ユニットアイソトープ実験部門の部門名の変更について	Web会議
		議題2	令和5年度決算について	
		議題3	令和6年度予算（案）について	
4	10月18日～10月25日	議題1	鹿児島大学先端科学研究推進センター組織規則の一部改正について	メール会議
		議題2	特任職員採用計画（案）について	
5	11月1日～11月8日	議題1	生命科学動物実験ユニット特任職員採用計画（案）について	メール会議
		議題2	感染制御研究ユニット特任職員採用計画（案）について	
6	11月19日～11月26日	議題1	令和8年度施設整備費概算要求事業への申請について	メール会議
7	1月29日～2月4日	議題1	共同研究講座「医用ミニプタ・先端医療開発共同研究部門」の設置（変更）について	メール会議
		議題2	特任研究員の採用について（生命科学動物実験ユニット・大動物研究推進部門）	
8	2月14日～2月20日	議題1	鹿児島大学先端科学研究推進センター組織規則の一部改正（案）について	メール会議
		議題2	先端科学研究推進センター研究支援ユニットアイソトープ実験部門計量管理規程の一部改正（案）について	
		議題3	令和7年度経営戦略経費（学長裁量経費）の申請について	
		議題4	特任職員採用計画（案）及び特任教授の採用について	
		議題5	客員教授の称号付与について	
		議題6	学外協力研究者の受入れについて	
		議題7	非常勤医師の兼業について	
9	2月26日～3月6日	議題1	先端科学研究推進センター研究支援ユニットアイソトープ実験部門放射線障害防止委員会 規則の一部改正（案）について	メール会議
		議題2	先端科学研究推進センター研究支援ユニットアイソトープ実験部門放射線障害予防規程の一部改正（案）について	
		議題3	先端科学研究推進センター利用料金規則の一部改正（案）について	
10	3月18日～3月24日	議題1	先端科学研究推進センター研究支援ユニットバイオバンク部門の新設について	メール会議
		議題2	先端科学研究推進センター研究支援ユニットアイソトープ実験部門特定放射性同位元素防護規程の一部改正について	
		議題3	先端科学研究推進センター研究支援ユニットアイソトープ実験部門特定放射性同位元素防護委員会規則の一部改正（案）について	

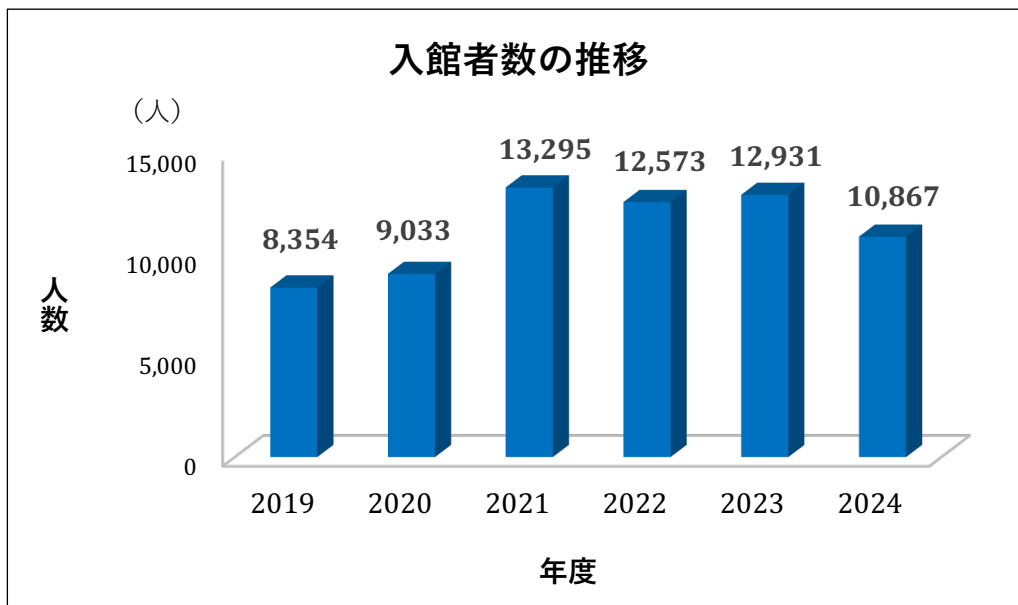
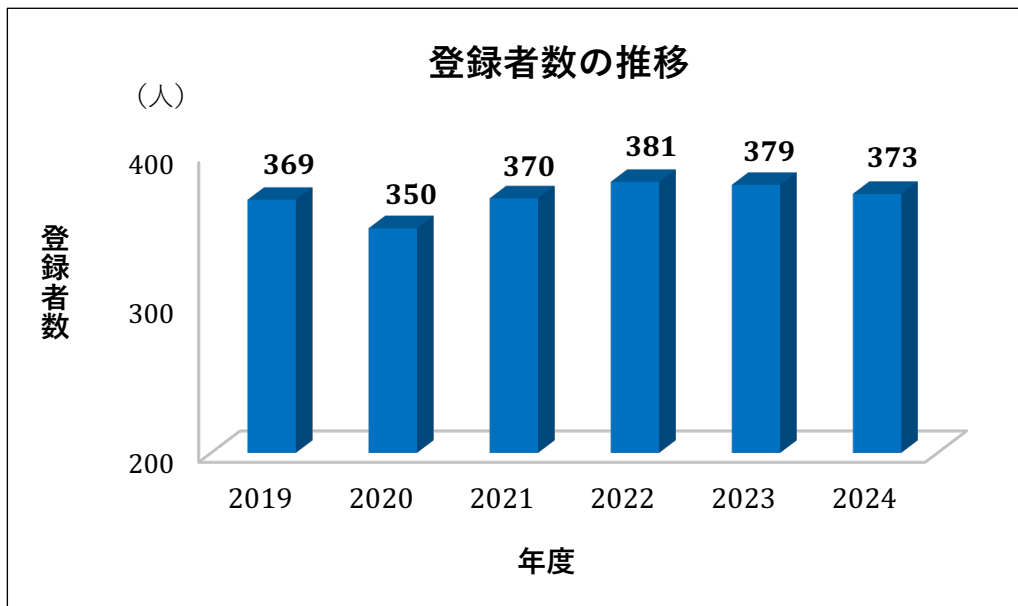
2-2 先端科学研究推進センター運営委員会名簿

委員部局	氏名	備考
先端科学研究推進センター	岡村 浩昭	1号委員
先端科学研究推進センター	佐原 寿史	2,3,4号委員
先端科学研究推進センター	澤田 剛	2,3,4号委員
先端科学研究推進センター	岡本 実佳	2,3号委員
先端科学研究推進センター	瀬戸山 健太郎	3,4号委員
先端科学研究推進センター	田浦 悟	3,4号委員
先端科学研究推進センター	小山 佳一	3号委員
法文学部、人文社会科学研究科	竹岡 健一	5号委員
教育学部、教育学研究科	新名 隆志	5号委員
理学部	重田 出	5号委員
医学部	岡本 裕嗣	5号委員
歯学部	中田 匡宣	5号委員
工学部、理工学研究科	福島 誠治	5号委員
農学部、農林水産学研究科	吉田 理一郎	5号委員
共同獣医学部	浅野 淳	5号委員
水産学部	田角 聡志	5号委員
保健学研究科	木山 良二	5号委員
医歯学総合研究科（医学）	小賤 健一郎	5号委員
連合農学研究科	寺田 竜太	5号委員
共同獣医学研究科	藤本 佳万	5号委員
研究推進部	野間 尚宜	6号委員

3. 運営状況報告

3-1 利用状況

◆ 利用者登録数および入館者数



カー入館者数はIDカード照合の稼働数である。
IDカード照合を行った本人と同時に入館した入館者は含んでいない。
またセミナー、学生実験室の利用の入館者も含んでいない。

◆ セミナー室の主な利用状況

題目	開催日時	主催	人数
遺伝子実験施設 ID カード登録（登録者）	4月9日～随時	遺伝子実験部門	373
先端科学研究推進センター技術部会議	4月23日	先端科学研究推進センター 技術部	7
アイソトープ実験施設の利用	5月9,31日 6月3,12,18,24日 7月5,8,18,19日 8月1,21日 9月11日 10月2,23日 11月12,15,20,25,26日 1月14,21日 2月4,10,17,18,19,26日 3月14,17,21日	アイソトープ実験部門	各 2～5
ピペットクリニック	9月3,4日	遺伝子実験部門	20

◆ 学生実験室の利用状況（カリキュラム関連の学生実験室の利用状況）

実験名	期間	学部等	学科等	人数	教員等
学生実験 ・食品機能学実験 ・分子生物学実験	4月9日 ～5月31日	農学部	農学科 食品生命科学 プログラム	25	坂尾 こそ枝 藤田 清貴
学生実験 ・植物生化学・分子生物学実験	6月6日 ～7月1日	農学部	農学科 植物資源科学 プログラム	25	岡本 繁久 中村 正幸
学生実験	7月4日 ～7月26日	農学部	農学科 植物資源科学 プログラム	50	清水 圭一
学生実験 ・化学生命工学実験	12月2日 ～1月23日	理工学研究科	化学生命工学 プログラム	55	橋口 周平

◆ 実験室等の貸し出し

【共同利用実験室 A 利用】 1 グループにつき 1/4 実験台を占有利用

学部等	教官	人数	
		前期	後期
大学院理工学研究科（理学系）	濱田 季之	7	8
大学院理工学研究科（工学系）	橋本 雅仁	10	10
医歯学総合研究科	乾 明夫	1	2
医歯学総合研究科	上川 善昭	1	—
農学部	榮村 奈緒子	1	1
農学部	坂上 潤一	2	3
農学部	坂巻 祥孝	4	4
農学部	清水 圭一	14	14
農学部	鶴丸 博人	5	5
農学部	山本 雅史	4	4
農学部	M.C.M フェスターガード	8	10

【共同利用実験室 B 利用】 実験台の利用（実験器具等を入れるためのラック付）

学部等	教官	人数	
		前期	後期
農学部	大久津 昌治	6	6
総合研究博物館	本村 浩之	5	5

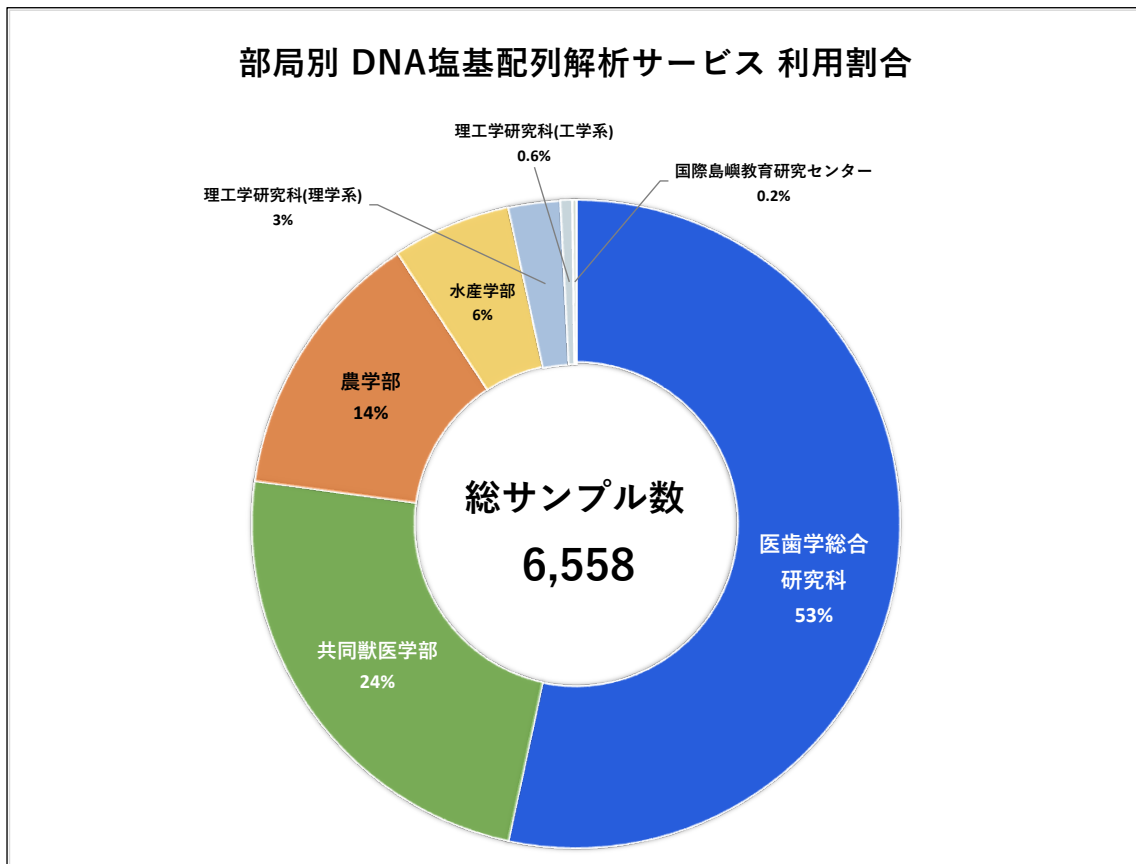
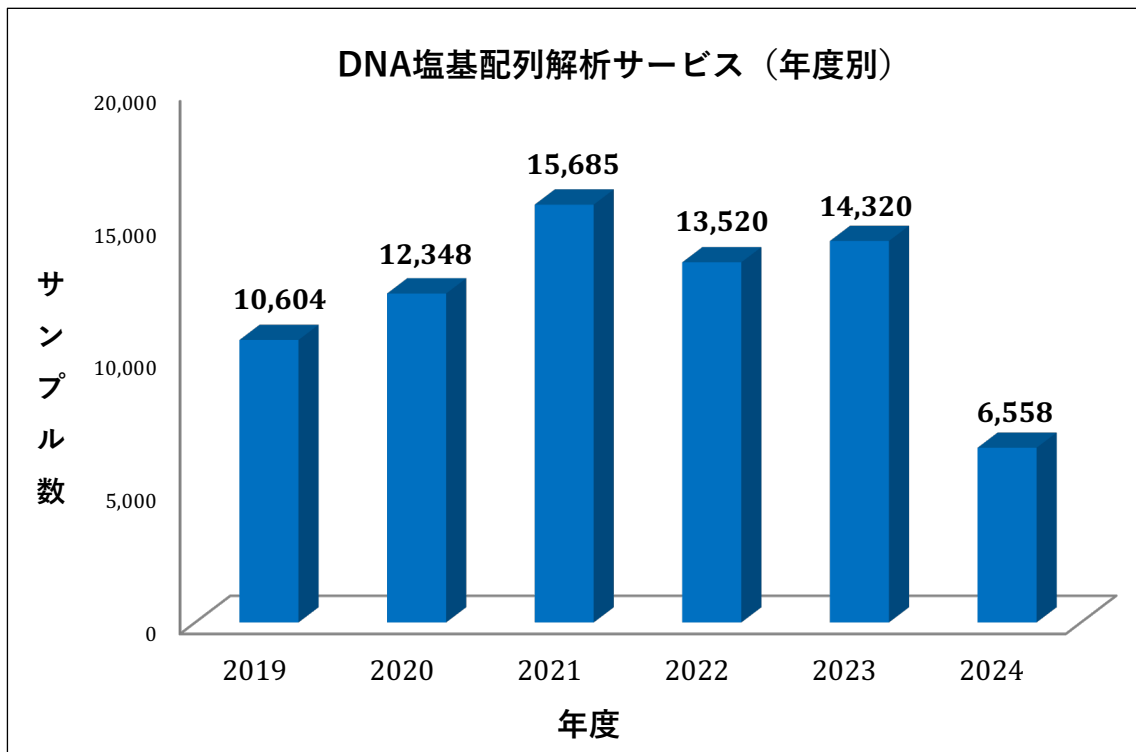
【植物培養室】

学部等	教官	人数	
		前期	後期
大学院理工学研究科（理学系）	福留 光孝	4	5
農学部	清水 圭一	14	14
農学部	末吉 武志	2	3
農学部	鶴丸 博人	5	5

【動物培養室】

学部等	教官	人数	
		前期	後期
大学院理工学研究科（理学系）	濱田 季之	7	8
農学部	大久津 昌治	6	6

3-2 依頼分析サービス DNA塩基配列解析サービス



3-3 主要機器の利用状況

機器名	2022		2023		2024	
	述べ 人数	総使用 時間	延べ 人数	総使用 時間	延べ 人数	総使用 時間
DNA シーケンサー-DNA シーケンサー (ABI PRISM 3130xl, ABI PRISM 3500xl)	732	13,520 (サンプル数)	721	14,320 (サンプル数)	565	6,588 (サンプル数)
質量測定装置 (autoflex speed TOF/TOF-KG)	219	232 時間 09 分	350	508 時間 42 分	357	509 時間 48 分
発光画像撮影装置 (Ez-Capture MG)	71	33 時間 37 分	77	34 時間 12 分	212	124 時間 06 分
リアルタイム PCR 検出機 (StepOnePlus)	178	456 時間 35 分	51	122 時間 12 分	29	74 時間 24 分
超遠心分離機 (Optima TL)	70	302 時間 48 分	35	130 時間 18 分	10	69 時間 24 分
蛍光倒立顕微鏡 (AX80)	28	17 時間 18 分	49	19 時間 18 分	67	31 時間 18 分
倒立顕微鏡 (IX73)	99	79 時間 03 分	58	45 時間 50 分	59	28 時間 12 分
レーザーマイクロダイセクション (LMD6000)	37	50 時間 01 分	12	8 時間 04 分	9	5 時間 00 分
マルチプレートリーダー (LB940)	275	40 時間 07 分	36	7 時間 31 分	59	16 時間 48 分
フレキシブルマイクロプレートリーダー (Infinite 200 PRO MPlex)	454	87 時間 22 分	513	90 時間 29 分	495	184 時間 06 分
マイクロチップ電気泳動装置 (MultiNa)	27	7 時間 03 分	5	5 時間 41 分	16	18 時間 24 分
超低温フリーザー (MDF-794AT-PJ) * 使用ボックス数	27	—	25	—	24	—
分光光度計 (NanoDrop 8000)	431	133 時間 16 分	384	125 時間 09 分	319	116 時間 12 分
電機泳動ゲル撮影装置 (GelDoc-it TS) 2023 年からログデータ集計開始			592	300 時間 51 分	500	234 時間 54 分
大型高速冷却遠心機 (Avanti HP-26XP) 2023 年からタイマー集計開始			38	50 時間 49 分	43	225 時間 54 分

3-4 導入機器等の紹介

先端科学研究推進センター 遺伝子実験部門 技術専門職員 西谷 篤

・フロア型超遠心機(Optima XE-100)

(BECKMAN COULTER 社製) 2024年12月導入

間接経費により導入した。

● 概要

最高回転数 10 万 rpm、最大遠心力 80.2 万 g のフロア型超遠心機。

○詳細：遺伝子実験部門ホームページ「フロア型超遠心機 Optima XE-100」

https://gene4.knit.kagoshima-u.ac.jp/grc/?page_id=21993



・フローサイトメーター (MACSQuant 10)

(ミルテニーバイオテク社製) 2024年10月導入

経営戦略経費により導入した。

● 概要

スタートアップ、シャットダウン、キャリブレーション、コンペンセーション、染色、測定までを高度に自動化できる超小型フローサイトメーター。

○詳細：遺伝子実験部門ホームページ「フローサイトメーター MACSQuant 10」

https://gene4.knit.kagoshima-u.ac.jp/grc/?page_id=22016



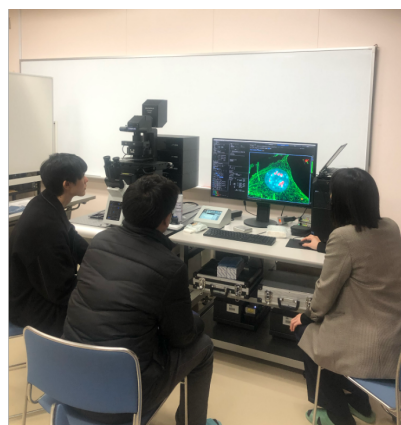
4. 施設行事 2024 年度

4-1 技術講習会等の開催

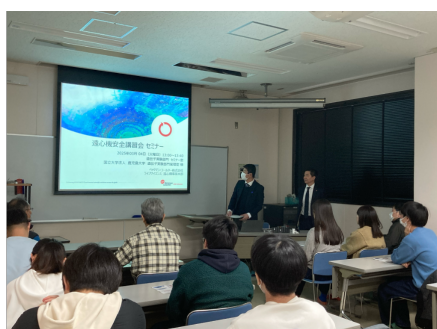
開催日	題目	主催者	開催場所	参加数
5月28日	フローサイトメーター MACSQuant Analyzer 基礎セミナー・デモ	ミルテニーバイオテク株式会社 西 崇亮氏	遺伝子実験施設 セミナー室	26
5月30日	フローサイトメーター CytoFLEX 基礎セミナー・デモ	ベックマン・コールター株式会社 吉岡 進	遺伝子実験施設 セミナー室	19
6月20日 ～6月21日	Mica 共焦点顕微鏡 個別デモ	ライカマイクロシステムズ株式会社 堀 泰介氏	遺伝子実験施設 セミナー室	5
8月27日	サンガーシーケンス解析に 関する基礎セミナー	ThermoFisher SCIENTIFIC 社 鈴木 克典氏	オンライン形式 ライブ配信	27
10月9日	フローサイトメトリー 取扱説明会	ミルテニーバイオテク社 西 崇亮氏	遺伝子実験施設 学生実験室	17
11月28日 ～11月29日	卓上顕微鏡測定デモセミナー	株式会社日立ハイテク 竹尾 健二氏	遺伝子実験施設 セミナー室	13
1月28日 ～1月29日	共焦点顕微鏡デモ	エビデント社 山口 将司氏	遺伝子実験施設 セミナー室	13
3月4日 ～3月5日	フロア型超遠心機 安全講習会・デモ	ベックマン・コールター株式会社	遺伝子実験施設 セミナー室 試料調製室	33



フローサイトメトリー取扱説明会（10月9日）



共焦点顕微鏡デモ（1月28日）



超遠心機 安全講習会（3月4日）

4-2 利用者登録および利用者説明会

- 利用者募集 3月上旬
- 利用説明会 対象：新規登録者
日時：2024年4月5日開始
方法：施設 Web サイトからの説明会動画視聴、
視聴アンケート回答
- IDカード登録 場所：遺伝子実験施設 セミナー室
期間：2024年4月9日～随時受付

4-3 その他

- 遺伝資源保存業務
イネ品種保存圃場水田 田植え
農学部附属農場 イネ品種保存圃場 6月18日、6月25日
イネ遺伝資源保存（低温室）
- JICA 来訪
2024年7月17日、JICA 関係者が来訪し、質量分析装置およびシーケンス解析の概要を説明。装置の特徴や利用方法について紹介し、意見交換を行った。



- 利用者登録および利用者説明会 2024年度の動画作成
- 鹿児島大学 遺伝子実験部門 年報第20号（2023年度）発行

5. 施設利用者業績報告 2024 年度

■ 学位論文

所属	氏名	研究業績
医歯学総合研究科	高嶋 博	Takahiro Hobara/Linking LRP12 CGG repeat expansion to inherited peripheral neuropathy/博士論文/脳神経内科・老年病学/2025.1.16
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	小椋みみか/フランキア窒素固定変異株 G23G1 の構造変異の解析と回復株のゲノム解析による原因変異の探索/学位論文/理学部理学科/2024.11.1
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	川田原芽衣/フランキア窒素固定変異株 N9D9 から単離された回復株の表現型解析/学位論文/理学部理学科/2024.11.1
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	谷山浩輔/窒素固定能が欠損した異常ベシクルの表現型解析/学位論文/理学部理学科/2024.11.1
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	白井万葉/フランキア窒素固定変異株 N9D9 から単離された回復株の Francci3_2702 遺伝子の解析/学位論文/理学部理学科/2024.11.1
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	柚木弥希/ガンマ線がフランキアに誘発する変異の種類/学位論文/理学部理学科/2024.11.1
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	松川竜也/フランキアで機能する新たな抗生物質耐性遺伝子の開発/学士/理学部理学科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	韓 オン/Frankia casuarinae Ccl3 株において転移活性を示す IS ホモログの同定/学士/理学部理学科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	溝口龍成/フランキアの可動遺伝因子の転移は変異原を必要とするか? pyrF 遺伝子を中心とした解析/学士/理学部理学科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	川畑蓮/フランキアで機能する効果的なプロモーターの検討/学士/理学部理学科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	村田真子/エレクトロポレーションによるフランキアの形質転換法の最適化/学士/理学部理学科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	中目湧斗/接合によるフランキアの形質転換における最適な抗生物質耐性遺伝子の検討/学士/理学部理学科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	藤井千有里/フランキアの可動遺伝因子の転移は変異原を必要とするか? pyrE 遺伝子を中心とした解析/学士/理学部理学科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	遠藤 渚/窒素固定が行えない変異株 G21E10 の原因変異遺伝子の同定と相補実験法の確立の試み/修士/理工学研究科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	元村 優希/窒素固定能を失ったフランキア変異株 N4H4 株とその回復株の表現型解析とゲノム解析/修士/理工学研究科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	柏 真琴/窒素固定を行わないフランキア変異株 G23C4 の異常表現型の変異原因遺伝子の同定と相補実験法の確立の試み/修士/理工学研究科/2025.2.28
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	寺下 あかり/静岡メロンに含まれる生物活性二次代謝産物の探索/修士論文/理工学研究科/2025.3

所属	氏名	研究業績
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	中村 龍之介/沖縄産ジャノメアメフラシ由来の生物活性二次代謝産物の探索/修士論文/理工学研究科/2025.3
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	川口 祐真/ミズスギ (<i>L. cernuum</i>) に含まれる二次代謝産物の探索/学士論文/理学部/2025.3
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	永重 静奈/鹿児島産紅藻および軟体サンゴに含まれる二次代謝産物の探索/学士論文/理学部/2025.3
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	野邊 蒼空/鹿児島産海綿に含まれる二次代謝産物の探索/学士論文/理学部/2025.3
理工学研究科 (理学系)	福留 光拳	坂田 雅/エゾノヘビイチゴの窒素固定細菌に対する共生応答の探索/学士論文/理学部理学科生物学プログラム/2025.3.1
理工学研究科 (理学系)	福留 光拳	中村 莉奈/落花生の根粒から単離した細菌の同定と共生特性の評価/学士論文/理学部理学科生物学プログラム/2025.3.1
理工学研究科 (理学系)	福留 光拳	山之口 尊/窒素固定細菌に対するカシミヒメハギの応答/学士論文/理学部理学科生物学プログラム/2025.3.1
理工学研究科 (工学系)	小橋 乃子	柳 湧希/低温条件下における外来性浮草の枯死・減耗過程/学位/先進工学科/2025.3
農学部	大久津 昌治	坂本 茉優/ウシ体外受精胚作出の高度化に関する研究/修士論文/農林水産学研究科/2024.11.8
農学部	大久津 昌治	古賀 涼香/ウシ卵子の体外成熟の高度化に関する研究/学士論文/農業生産科学科/2024.11.8
農学部	大久津 昌治	岩元 省高/ウシ体外受精胚の超急速ガラス化凍結保存に関する研究/修士論文/農林水産学研究科/2025.3.31
農学部	大久津 昌治	高園 愛梨/ガラス化凍結保存したウシ体外受精由来胚盤胞における融解後の希釈処理時間がその後の体外発生に及ぼす影響/学士論文/農業生産科学科/2025.3.31
農学部	大久津 昌治	清田 莉久/形態的評価で低ランクのウシ卵子の体外成熟におけるメラトニンおよびラクトフェリン添加が体外受精・発生に及ぼす影響/学士論文/農業生産科学科/2025.3.31
農学部	大久津 昌治	田嶋 慶大/ウシ卵子の体外受精における媒精時のメラトニン添加がその後の体外発生に及ぼす影響/学士論文/農業生産科学科/2025.3.31
農学部	大久津 昌治	筒井 鯛喜/媒精したウシ卵子の体外培養におけるメラトニン添加が体外発生能に及ぼす影響/学士論文/農業生産科学科/2025.3.31
農学部	坂尾 こず枝	塩見 夏希/「かごしま黒茶」の一次発酵および二次発酵条件による機能性への影響/学位/食料生命科学科/2025.3.26
総合研究博物館	本村 浩之	畑瑛之郎/インド・太平洋におけるキンメダマシ属の分類学的研究およびキンメダイ科の属の再構築/修士論文/農林水産学研究科 総合研究博物館/2025.3.31
総合研究博物館	本村 浩之	金井 聖弥/ニシキギンポ科魚類の分類学的研究/修士論文/農林水産学研究科 総合研究博物館/2025.3.31
総合研究博物館	本村 浩之	佐藤 智水/日本産コバンハゼ属魚類の分類学的研究/修士論文/農林水産学研究科 総合研究博物館/2025.3.31

所属	氏名	研究業績
総合研究博物館	本村 浩之	吉田卓史/インド・太平洋におけるアジ科魚類（イトウオニヒラアジ・マルヒラアジ・シマアジ属）の分類学的研究/修士論文/農林水産学研究科 総合研究博物館/2025.3.31

■ 学会誌等印刷発表

所属	氏名	研究業績
医歯学総合研究科	大岡 唯祐	Fernandes I, Ooka T, Lira D, Martins FH, Orsi H, Jones N, Elias W, Hayashi T, Gomes TA, and Hernandez R./TccP4: A novel effector identified in the #IEscherichia albertii#IR strain 1551-2 required for attaching and effacing lesion formation on infected Nck-null cells/Microbiology Spectrum/2025.1.29
医歯学総合研究科	高嶋 博	Kakumoto T., Orimo K., Matsukawa T., Mitsui J., Ishihara T., Onodera O., Suzuki Y., Morishita S., Tsuji S., Nagata T., Ozaki K., Ishiguro T., Nishida Y., Ishikawa K., Ogata K., Matsushima M., Yabe I., Kira J., Higashi K., Takashima H., Adachi T., Takigawa H., Watanabe Y., Hanajima R., Sawamoto N., Ishimoto T., Sakato Y., Takahashi R., Yamanaka Y., Sugiyama A., Kuwabara S., Tada M., Hara K., Katsuno M., Takahashi Y., Mizusawa H., Yamashita T., Abe K., Ishiura H., Toda T., Chikada A./Frequency of FGF14 intronic GAA repeat expansion in patients with multiple system atrophy and undiagnosed ataxia in the Japanese population/European Journal of Human Genetics/33,3,325-333/2024
医歯学総合研究科	高嶋 博	Nakahashi Takumi, Matsuura Ryuki, Kikuchi Kenjiro, Takeda Rikako, Takeuchi Hirokazu, Nonoyama Hazuki, Hirata Yuko, Koichihara Reiko, Hashiguchi Akihiro, Takashima Hiroshi, Hamano Shin-ichiro/経時的な脊髄 MR neurography の評価で神経根肥大を認めた Charcot-Marie-Tooth 2A 型の 1 例 A case of childhood Charcot-Marie-Tooth disease type 2A with nerve root enlargement in longitudinal evaluation of spinal MR neurography/脳と発達 NO TO HATTATSU/56,6,427-431/2024
医歯学総合研究科	高嶋 博	Hobara T., Ando M., Higuchi Y., Yuan J.H., Yoshimura A., Kojima F., Noguchi Y., Takei J., Hiramatsu Y., Nozuma S., Nakamura T., Adachi T., Toyooka K., Yamashita T., Sakiyama Y., Hashiguchi A., Matsuura E., Okamoto Y., Takashima H. /Linking LRP12 CGG repeat expansion to inherited peripheral neuropathy/Journal of Neurology, Neurosurgery and Psychiatry/96,2,140-149/2024
医歯学総合研究科	高嶋 博	Kojima F., Okamoto Y., Ando M., Higuchi Y., Hobara T., Yuan J., Yoshimura A., Hashiguchi A., Matsuura E., Takashima H./A novel homozygous HPDL variant in Japanese siblings with autosomal recessive hereditary spastic paraplegia: case report and literature review/Neurogenetics/25,2,149-156/2024.4
医歯学総合研究科	高嶋 博	Ito M., Sugiyama A., Higuchi Y., Takashima H., Takahashi Y., Mizusawa H., Kuwabara S. /Writer's Cramps as an Initial Symptom of Spinocerebellar Ataxia Type 14 /Internal Medicine/63,15,2183-2186/2024.8.1
医歯学総合研究科	高嶋 博	Hobara T., Higuchi Y., Yoshida M., Suehara M., Ando M., Yuan J.H., Yoshimura A., Kojima F., Matsuura E., Okamoto Y., Mitsui J., Tsuji S., Takashima H. /Genetic and pathophysiological insights from autopsied patient with primary familial brain calcification: novel MYORG variants and astrocytic implications /Acta Neuropathologica Communications/12,1,136-136/2024.12

所属	氏名	研究業績
医歯学総合研究科	高嶋 博	Ando M., Higuchi Y., Yuan J.H., Yoshimura A., Yano C., Hobara T., Kojima F., Hiramatsu Y., Nozuma S., Nakamura T., Sakiyama Y., Hashiguchi A., Okamoto Y., Matsushige T., Mitsui J., Tsuji S., Takashima H. /SOD1-related inherited peripheral neuropathies in a Japanese cohort: genetic variants and clinical insights /Journal of Neurology /272,3,191-191/2025.3
医歯学総合研究科	三井 薫	Hirota Kawakami, Nobuhiro Ijichi, Yuki Obama, Eriko Matsuda, Kaoru Mitsui, Yuya Nishikawaji, Maki Watanabe, Satoshi Nagano, Noboru Taniguchi, Setsuro Komiya, Ken-Ichiro Kosai/An optimal promoter regulating cytokine transgene expression is crucial for safe and effective oncolytic virus immunotherapy./Translational research : the journal of laboratory and clinical medicine/273,undefined,32-45/2024.7.3
医歯学総合研究科	三井 薫	Kosai K.I., Nishikawaji Y., Ijuin H., Matsuda E., Mitsui K./Innovative cancer therapy using “conditionally replicating adenovirus that can specifically target tumors with multiple factors”(m-CRA)/Drug Delivery System/39,4,248-259/2024.9.25
医歯学総合研究科	三井 薫	Kawakami H., Ijichi N., Obama Y., Matsuda E., Mitsui K., Nishikawaji Y., Watanabe M., Nagano S., Taniguchi N., Komiya S., Kosai K.i./An optimal promoter regulating cytokine transgene expression is crucial for safe and effective oncolytic virus immunotherapy/Translational Research/273,,32-45/2024.11
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	Totani M., Nakamichi A., Kadokawa J.I./Enzymatic Assembly of Chitosan-Based Network Polysaccharides and Their Encapsulation and Release of Fluorescent Dye/Molecules/29,8,-/2024.4
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	Ishii H., Takagaki T., Iwamoto M.A., Totani M., Kadokawa J.I./Synthesis of a new unnatural polysaccharide, 2-deoxy-β(1→3)-glucan, by β-1,3-glucan phosphorylase-catalyzed enzymatic polymerization/Chemistry Letters/53,9,-/2024.9
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	Yuta Miyahara, Tao Takagaki, Masayasu Totani, Jun-ichi Kadokawa/Glucan Phosphorylase-catalyzed Enzymatic Synthesis of a New Unnatural Heteroaminopolysaccharide, Glucosamino-2-deoxyglucan, and its N-Benzoylation for pH Responsive Property/Macromol. Chem. Phys./,,2500052-/2025.3.1
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	Kucho K, Han O, Yunoki M/Gamma Ray-induced Mutations in pyrEF Genes in Frankia casuarinae Strain Ccl3/Microbes Environ./40,1,ME24062-/2025.3.12
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	Ryoma Nakagawa, Tatsuhide Miwa, Tatsuro Miyaji, Ryunosuke Nakamura, Kazumi Nimura, Ryosuke Fukada, Takahiro Ishii, Toshiyuki Hamada, Takashi Kamada/Lemnalol acetate, ylangene-type sesquiterpenoid isolated as natural product from the soft coral genus Lemnalia collected in Okinawa/Gelaxea, Journal of Coral Reef Studies/undefined,undefined,undefined-/2024
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	Hinako Koze, Masayuki Sudoh, Satoaki Onitsuka, Hiroaki Okamura, Takeshi Ishikawa, Fumito Tani, Yukako Miyata-Yabuki, Mikako Shirouzu, Masanori Baba, Mika Okamoto, Toshiyuki Hamada/Sulfoquinovosyl diacylglycerol, a Component of Holy Basil Ocimum tenuiflorum, inhibits the Activity of the SARS-CoV-2 Main Protease and Viral Replication in vitro/Journal of Natural Medicines/2024.11.25
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	Takeshi Ishikawa, Kenji Matsumoto, Toshiyuki Hamada, Hinako Koze, Masanori Baba, Mika Okamoto, and Masayuki Sudoh/In Silico Discovery of SARS-CoV-2 Main Protease Inhibitors Using Docking, Molecular Dynamics, and Fragment Molecular Orbital Calculations/The Journal of Physical Chemistry B/2025.1

所属	氏名	研究業績
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	Ryunosuke Nakamura, Koushi Matsuyama, Naomichi Arima, Fumito Tani, Satoaki Onitsuka, Hiroaki Okamura, Tetsuo Iwagawa, Masayuki Sudoh, Toshiyuki Hamada/Isolation, characterization, and biological activities of halogenated sesquiterpenes and C15 acetogenins from the Okinawan sea hare, <i>Aplysia argus</i> /Tetrahedron/178,,134588-/2025.3
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	Koki Murata, Kai Harayama, Mayuko Shimoda, Mayumi Niimura, Masahiro Wakao, Yasuo Suda, Toshiro Moroishi, Hiroyuki Shinchi/Improvement of the Nuclease Resistance and Immunostimulatory Activity of CpG Oligodeoxynucleotides by Conjugation to Sugar-Immobilized Gold Nanoparticles /Bioconjugate Chemistry/35,6,804-815/2024.5.8
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	Hiroyuki Shinchi/Biomedical Applications of Sugar Chain-Immobilized Nanoparticles/Trends in Glycoscience and Glycotechnology/37,215,E1-E5/2025.1.25
理工学研究科 (工学系)	隅田 泰生	SUDA Yasuo/糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度・高精度ウイルス検査/ファルマシア Farumashia/60,3,214-218/2024
理工学研究科 (工学系)	武井 孝行	木許花菜、長副聡、片山貴士、吉田昌弘、武井孝行/二枚貝の人工餌料としてのデンプンゲルマイクロカプセルの可能性評価 Evaluation of Potential of Starch Hydrogel Microcapsules as Artificial Feed for Bivalve/化学工学論文集/51,2,57-63/2025.3
農学部	石橋 松二郎	Masao Tokunaga, Teruo Akuta, Yuhei Tokunaga, Yui Tomioka, Tsutomu Arakawa, Matsujiro Ishibashi/Agarose Gel Electrophoresis Analysis of Chemically Cross-linked ClpB Chaperone Protein from Moderate Halophile/Salt and Seawater Science & Technology/ Vol. 5, 22-26/2025
農学部	一谷 勝之	HIGASHI Hirona, ICHITANI Katsuyuki, YAMAMOTO Masashi, SHIMIZU Katsuyoshi/ポタンボウフウ (<i>Peucedanum japonicum</i> Thunb.) の鹿児島県本土および島嶼部における分布に関する研究 Research of the Distribution of <i>Peucedanum japonicum</i> Thunb. in Islands and Mainland of Kagoshima Prefecture/熱帯農業研究 Research for Tropical Agriculture/17,2,45-50/2024
農学部	一谷 勝之	Toyomoto D., Shibata Y., Uemura M., Taura S., Sato T., Henry R., Ishikawa R., Ichitani K. /Seed abortion caused by the combination of two duplicate genes in the progeny from the cross between <i>Oryza sativa</i> and <i>Oryza meridionalis</i> /Breeding Science /74,,146-158/2024.4.12
農学部	鶴川 信	Shoma Hiejima, Hiroto Seino, Rico Hachisuka, Yuka Watanabe, Takakazu Matsuura, Izumi C. Mori, Shin Ugawa/Physiological and Biochemical Traits of Dormancy Release and Growth Resumption in Japanese Cedar in the Warm-Temperate Zone/Forest Science/2025.2.20
農学部	坂尾 こそ枝	Daigo Urakawa, Yuki Shioiridani, Shinya Igata, De-Xing Hou, Kozue Sakao/Comparative Analysis of Acetylated Flavonoids' Chemopreventive Effects in Different Cancer Cell Lines./International journal of molecular sciences/25,14,undefined-/2024.7.13
農学部	坂巻 祥孝	Daisuke SAKAI, Yosataka SAKAMAKI/ナス科を加害する日本産キバガ科とトマトキバガの幼虫における識別 (鱗翅目:キバガ科) Discrimination of larvae of the tomato leaf miner, <i>Tuta absoluta</i> , from other gelechiid larvae attacking solanaceous plants in Japan (Lepidoptera: Gelechiidae)/蝶と蛾 Lepidoptera Science/76,1,31-41/2025.1.31

所属	氏名	研究業績
農学部	清水 圭一	T.P. Huynh, C. Motoyama, H. Oshima, N. Kozai, F. Hashimoto, K. Shimizu/Functional analysis of flavonoid 3',5'-hydroxylase gene using transgenic Japanese morning glory (<i>Ipomoea nil</i>)/Acta Horticulturae/1404,,861-866/2024
農学部	玉置 尚徳	Atsushi Nishitani, Kentaro Hiramatsu, Chihiro Kadooka, Kyoka Hiroshima, Kazutaka Sawada, Kayu Okutsu, Yumiko Yoshizaki, Kazunori Takamine, Masatoshi Goto, Hisanori Tamaki, Taiki Futagami/Overexpression of the DHA1 family, ChlH and ChlK, leads to enhanced dicarboxylic acids production in koji fungi, <i>Aspergillus luchuensis</i> mut. <i>kawachii</i> and <i>Aspergillus oryzae</i> /Journal of Bioscience and Bioengineering/137, 4, 281-289/2024.4.0
農学部	玉置 尚徳	Enkang Zhu, Kentaro Hiramatsu, Taiga Inoue, Kazuki Mori, Kosuke Tashiro, Kiyotaka Fujita, Takefumi Karashima, Hideharu Takashita, Kayu Okutsu, Yumiko Yoshizaki, Kazunori Takamine, Hisanori Tamaki, Taiki Futagami/Deficiency of β -xylosidase activity in <i>Aspergillus luchuensis</i> mut. <i>kawachii</i> IFO 4308/Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry/88, 7, 816-823/2024.4.15
農学部	玉置 尚徳	Zhu E., Hiramatsu K., Inoue T., Mori K., Tashiro K., Fujita K., Karashima T., Takashita H., Okutsu K., Yoshizaki Y., Takamine K., Tamaki H., Futagami T./Deficiency of β -xylosidase activity in <i>Aspergillus luchuensis</i> mut. <i>kawachii</i> IFO 4308/Bioscience, Biotechnology and Biochemistry/88,7,816-823/2024.7.1
農学部	玉置 尚徳	Kadooka C., Izumitsu K., Asai T., Hiramatsu K., Mori K., Okutsu K., Yoshizaki Y., Takamine K., Goto M., Tamaki H., Futagami T./Overexpression of the RNA-binding protein NrdA affects global gene expression and secondary metabolism in <i>Aspergillus</i> species./mSphere/10,2,e0084924-/2025.2
農学部	鶴丸 博人	Htwe, A.Z., Yamakawa, T., Ishibashi, M., Tsurumaru, H./Isolation and characterization of mung bean (<i>Vigna radiata</i> L.) rhizobia in Myanmar./Symbiosys/2024.10.14
農学部	二神 泰基	Enkang Zhu, Kentaro Hiramatsu, Taiga Inoue, Kazuki Mori, Kosuke Tashiro, Kiyotaka Fujita, Takefumi Karashima, Hideharu Takashita, Kayu Okutsu, Yumiko Yoshizaki, Kazunori Takamine, Hisanori Tamaki, Taiki Futagami/Deficiency of β -xylosidase activity in <i>Aspergillus luchuensis</i> mut. <i>kawachii</i> IFO 4308./Bioscience, biotechnology, and biochemistry/undefined,undefined,undefined-/2024.4.15
農学部	二神 泰基	Chihiro Kadooka, Kosuke Izumitsu, Teigo Asai, Kentaro Hiramatsu, Kazuki Mori, Kayu Okutsu, Yumiko Yoshizaki, Kazunori Takamine, Masatoshi Goto, Hisanori Tamaki, Taiki Futagami/Overexpression of the RNA-binding protein NrdA affects global gene expression and secondary metabolism in <i>Aspergillus</i> species./mSphere/„e0084924-/2025.1.24
農学部	山本 雅史	Yamamoto, M., Arita, S., Kozai, N./Simple methods for producing tetraploids in polyembryonic citrus/Japan Agricultural Research Quarterly/58,2,107-113/2024.4.1
農学部	山本 雅史	山本雅史・桑原佳大・窪田瑛水・島田温史・吉崎由美子・渡部由香・朴 炳宰・香西直子/鹿児島県大隅半島南部の特産カンキツである辺塚ダイダイの類縁関係と果実特性/熱帯農業研究/17,1,1-11/2024.6.1
農学部	山本 雅史	東 弘奈・一谷勝之・山本雅史・志水勝好/ボタンボウフウ (<i>Peucedanum japonicum</i> Thumb.) の鹿児島県本土および島嶼部における分布に関する研究/熱帯農業研究/17,2,45-50/2024.12

所属	氏名	研究業績
共同獣医学部	宇野 泰広	Uno Y, Tsukiyama-Kohara K, Ishizuka M, Mizukawa H, Murayama N, and Yamazaki H/Investigation of functional cytochrome P450 4A enzymes in liver and kidney of pigs, cats, tree shrews, and dogs in comparison with the metabolic capacity of human P450 4A11/Drug Metab Dispos/52,9,1009-1019/2024.9
共同獣医学部	宇野 泰広	Uno Y, Minami Y, Tsukiyama-Kohara K, Murayama N, and Yamazaki H/Identification of cytochrome P450 2C18 and 2C76 in tree shrews: P450 2C18 effectively oxidizes typical human P450 2C9/2C19 chiral substrates warfarin and omeprazole with less stereoselectivity/Biochem Pharmacol /228,,115990-/2024.10
共同獣医学部	下桐 猛	下桐猛, 小山秀美/黒毛和種の白斑発生に関する分子遺伝学的研究/令和5年度食肉に関する助成研究成果報告書/42,,147-152/2024.11
共同獣医学部	下桐 猛	Daichi Nishino, Taketo Haginouchi, Takeshi Shimogiri, Susumu Muroya, Kenji Kawabata, Saki Urasoko, Ichiro Oshima, Shinobu Yasuo, Takafumi Gotoh/A pilot study: Maternal undernutrition programs energy metabolism and alters metabolic profile and morphological characteristics of skeletal muscle in postnatal beef cattle/Metabolites/15,3,209-/2025.3.19
共同獣医学部	中馬猛久	Fujimoto H, Shimoji N, Sunagawa T, Sanga G, Chuma T/Differences in antimicrobial resistance-related genes of Trueperella pyogenes between isolates detected from cattle and pigs./The Journal of veterinary medical science/86,11,1119-1123/2024.11.1
水産学部	奥西 将之	Kengo Shinohara, Yuji Ito, Suguru Okunishi, Hiroto Maeda/Elucidating the seasonal dominance replacement mechanism of harmful raphidophytes Chattonella marina and Heterosigma akashiwo using the Lotka-Volterra model/Ecological Modelling/491,undefined,110660-110660/2024.5
水産学部	塩崎 一弘	Momoka Hibarino, Eri Aoki, Yurina Kubo, Haruri Nagata, Sayaka Tateno, Kenzo Sakaguchi, Hirofumi Kawaji, Kazuhiro Shiozaki/Lactic acid-fermented by-product of Shochu distillery reduces anxiety behavior in Neuropeptide Y knockout zebrafish by the regulation of isotoin neuron/Journal of Material Cycles and Waste Management/2024.11
総合研究博物館	本村 浩之	Hashimoto, S. and H. Motomura/A new species of bigeye, Priacanthus gracilis (Perciformes: Priacanthidae), from eastern Australia/Ichthyological Research/2024.4.22
総合研究博物館	本村 浩之	Matsumoto, T. and H. Motomura/Two new species of the scorpionfish genus Neomerinthe Fowler 1935 (Teleostei: Scorpaenidae) from northwestern Australia/Ichthyological Research/2024.6.14
総合研究博物館	本村 浩之	Hata, E. and H. Motomura/Neotrygon yakkoiei, a new bluespotted maskray (Dasyatidae) from Japan/Ichthyological Research/2024.8.1
総合研究博物館	本村 浩之	Cabebe-Barnuevo, R., K. Mochizuki and H. Motomura/Monophyly and re-definition of the Indo-Pacific scorpionfish genus Parascorpaena Bleeker 1876 (Scorpaenidae)/Ichthyological Research/2024.8.13
総合研究博物館	本村 浩之	Hashimoto, S., R. Koreeda, M. R. Izarenah, Y. G. Seah and H. Motomura/First record of Priacanthus blochii (Actinopterygii: Eupercaria: Priacanthidae) from Malaysia/Acta Ichthyologica et Piscatoria/54,,243-247/2024.10.25
総合研究博物館	本村 浩之	Koreeda, R., Y. G. Seah and H. Motomura/First records of the Vanishing Silhouette Goby Silhouettea evanida (Pisces: Actinopterygii: Gobiidae) from the South China Sea, with notes on reproductive behavior of the species/Thalassas/41,,1-10/2024.11.7

所属	氏名	研究業績
総合研究博物館	本村 浩之	Dewa, Y. and H. Motomura/Enneapterygius pallidoserialis, a junior synonym of Enneapterygius erythrosona (Perciformes: Tripterygiidae)/Species Diversity/29,,409-413/2024.11.25
総合研究博物館	本村 浩之	Cabebe-Barnuevo, R., K. Wibowo and H. Motomura/Redescription of Parascorpaena moultoni (Whitley, 1961) (Actinopterygii, Scorpaenidae), with new distribution records for the species/ZooKeys/1219,,271-285/2024.12.4
総合研究博物館	本村 浩之	Matsumoto, T. and H. Motomura/Phenacoscorpius trispinis, a new species of scorpionfish (Teleostei: Scorpaenidae) from Sagami Bay, Japan/Ichthyological Research/2025.1.11
総合研究博物館	本村 浩之	古橋龍星・久高健飛・本村浩之/ペラ科イラ属の標準和名ミナベイラはキスジイラの新参異名/Ichthy, Natural History of Fishes of Japan/51,,25-35/2025.1.19
総合研究博物館	本村 浩之	Sato, M. C. and H. Motomura/Tomiyamichthys hyacinthinus, a new shrimpgoby (Teleostei: Gobiidae) from southern Japan/Zootaxa/5588,1,174-184/2025.2.13
総合研究博物館	本村 浩之	Matsunuma, M., S. Kanai, Y. G. Seah, F. Tashiro and H. Motomura/Resurrection of the five-ocellated left-eye flounder Pseudorhombus ocellifer Regan 1905 (Paralichthyidae), with redescription of Pseudorhombus pentophthalmus Günther 1862 and Pseudorhombus oculocirris Amaoka 1969/Ichthyological Research/2025.3.29
国際島嶼教育研究センター	大塚 靖	Fukuda M., Otsuka Y., Sakai K., Uni S., Junker K., Saeung A., Srisuka W., Takaoka H./Metabolomic analysis of larval stages of Onchocerca japonica (Spirurida: Onchocercidae), raised in black fly (Diptera: Simuliidae) vectors, by gas chromatography-tandem mass spectrometry/Acta Tropica/263,,107541-/2025.3

■ 講演・学会発表

所属	氏名	研究業績
医歯学総合研究科	藺牟田 直子	藺牟田直子, 児玉祐一, 中村隼人, 大岡唯祐, 西 順一郎/遺伝子マーカーaggR の PCR 法で検出されない腸管凝集性大腸菌 (EAEC) の検討/日本感染症学会総会・学術講演会・日本化学療法学会学術集会合同学会プログラム・抄録集 日本感染症学会・日本化学療法学会/2024.5
医歯学総合研究科	藺牟田 直子	藺牟田直子, 児玉祐一, 中村隼人, 大岡唯祐, 西 順一郎/遺伝子マーカーaggR の PCR 法で検出されない腸管凝集性大腸菌 (EAEC) の検討/第 98 回日本感染症学会学術集講演会 日本感染症学会/神戸国際会議場/神戸国際展示場 1 号館 /2024.6
医歯学総合研究科	藺牟田 直子	藺牟田直子, 西 順一郎/小児腸管由来大腸菌における ESBL CTX-M 遺伝子保有頻度の長期的推移 (2001~2023) /第 21 回日本小児消化管感染症・免疫アレルギー研究会 日本小児消化管感染症・免疫アレルギー研究会/口頭発表 (一般) 大阪公立大学 I-site なんば/2025.2.9

所属	氏名	研究業績
医歯学総合研究科	大岡 唯祐	大岡唯祐, 志多田千恵, 山本隆俊, 坂本智代美, 堀場千尋, 黒田誠, 高橋元秀, 西順一郎/鹿児島県内土壌中の破傷風菌の分布調査 Characterization of #IClostridium tetani#IR isolated from the soil in Kagoshima prefecture/第 97 回日本細菌学会総会 The 97th Annual Meeting of Japanese Society for Bacteriology 日本細菌学会/ポスター発表 札幌 日本国/2024.8.7
医歯学総合研究科	大岡 唯祐	大岡唯祐/2018年に発生した#ISalmonella enterica#IR serovar Oranienburg 菌血症集積事例由来株の全国的蔓延/第 97 回日本細菌学会総会 The 97th Annual Meeting of Japanese Society for Bacteriology 日本細菌学会/シンポジウム・ワークショップパネル(指名) 札幌 日本国/2024.8.8
医歯学総合研究科	大岡 唯祐	大岡唯祐, 馬場洋一, 岡部祐未, 柿澤広美, 蘭牟田直子, 川村英樹, 新川奈緒美, 伊藤武, 西順一郎/西日本を中心とした#ISalmonella enterica#IR serovar Oranienburg 特定クローンの蔓延と感染事例の発生/第 95 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 日本感染症学会/口頭発表(一般) 神戸 日本国/2024.11.16
医歯学総合研究科	三井 薫	西川路侑耶, 川上広高, 小浜祐行, 松田恵理子, 三井薫, 小賤健一郎/安全かつ効果的な次世代腫瘍溶解性ウイルス・免疫療法の創出には至適プロモーターによるサイトカイン遺伝子の発現制御が重要である/第 30 回日本遺伝子細胞療法学会学術総会/口頭発表(一般) 神奈川/2024.7.17
医歯学総合研究科	三井 薫	2. 西川路侑耶, 川上広高, 小浜祐行, 松田恵理子, 三井薫, 小賤健一郎/導入遺伝子発現の至適化が革新的な腫瘍溶解性ウイルス免疫療法の鍵である/第 83 回日本癌学会学術総会/口頭発表(一般) 福岡/2024.9.21
医歯学総合研究科	三井 薫	西川路侑耶, 川上広高, 松田恵理子, 三井薫, 小賤健一郎/安全かつ効果的な免疫遺伝子搭載型・腫瘍溶解性ウイルス治療にはサイトカイン治療遺伝子発現を制御する至適プロモータが重要/第 2 回日本ウイルス療法学会学術集会/口頭発表(一般) 東京/2024.11.4
医歯学総合研究科	蓑部 悦子	蓑部 悦子, 徐建軍, Lei Yang, Feng Guo, 亀山 正樹/カルモジュリン C-lobe が、低 Ca ²⁺ 濃度での Cav1.2 チャンネルの活性を制御する/第 75 回西日本生理学会/佐賀大学/2024.10.18
理工学研究科 (理学系)	池永 隆徳	池永隆徳, 児玉大和, 下舞凜子, 毛利千晶/ポリプテルスの小脳に関する神経解剖学的研究/日本動物学会第 95 回大会(長崎)/2024.9.12
理工学研究科 (理学系)	池永 隆徳	池永隆徳, 下舞凜子, 木村悟, 児玉大和, 毛利千晶/原始的条鰭魚類ポリプテルスの小脳の細胞構築と出力系に関する研究/鹿児島神経科学研究会/2024.12.17
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	遠藤 渚, 柏 真琴, 飛鳥井 滉也, 九町 健一/ベシクル形成が行えない Frankia 変異株の原因変異の探索/日本微生物生態学会第 37 回広島大会/ポスター発表 広島/2024.10.28
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	元村優希, 谷山浩輔, 九町健一/ベシクル膜が異常なフランキア変異株の表現型解析とゲノム解析/日本微生物生態学会第 37 回広島大会/ポスター発表 広島 日本国/2024.10.28

所属	氏名	研究業績
理工学研究科 (理学系)	九町 健一	九町 健一, 韓 オン, 柚木 弥希/ <i>Frankia casuarinae</i> においてガンマ線により誘発される変異/日本微生物生態学会第 37 回 広島大会/ポスター発表 広島 日本国/2024.10.28
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	中村龍之介、須藤正幸、有馬直道、谷文都、鬼束聡明、岡村浩昭、濱田季之/沖縄産ジャノメアメフラシ由来新規 C15 アセトゲニン類の構造と活性/第 35 回海洋生物活性談話会 /2024.5.18
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	小瀬日奈子、須藤正幸、鬼束聡明、岡村浩昭、石川岳志、谷文都、矢吹由香子、白水美香子、馬場昌範、岡本実佳、濱田季之/ホーリーバジル (<i>Ocimum sanctum</i> Oya) 由来の生物活性物質の探索研究/第 61 回化学関連支部合同九州大会 /2024.6.29
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	中村龍之介、須藤正幸、有馬直道、谷文都、鬼束聡明、岡村浩昭、岩川哲夫、濱田季之/沖縄産ジャノメアメフラシ由来の生物活性二次代謝産物の探索/第 61 回化学関連支部合同九州大会/2024.6.29
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	嶋津収作、有馬直道、谷文都、鬼束聡明、岡村浩昭、濱田季之/西表島近海に生息する <i>Dysidea</i> 属海綿由来の二次代謝産物の探索/第 61 回化学関連支部合同九州大会/2024.6.29
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	寺下あかり、影山雅也、有馬一成、須藤正幸、谷文都、鬼束聡明、岡村浩昭、濱田季之/静岡メロンの皮に含まれる二次代謝産物の探索/第 61 回化学関連支部合同九州大会 /2024.6.29
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	小瀬日奈子、須藤正幸、岡村浩昭、鬼束聡明、石川岳志、谷文都、矢吹由香子、白水美香子、馬場昌範、岡本実佳、濱田季之/ホーリーバジル (<i>Ocimum tenuiflorum</i> L.) に含まれる生物活性物質の探索/日本生薬学会第 70 回年会/2024.9.16
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	西村直樹、濱田季之、鬼束聡明、岡村浩昭/N-Boc-3-ヒドロキシ-2-ピリドンの合成及び塩基触媒 Diels-Alder 反応への応用/第 53 回 複素環化学討論会/2024.10.11
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	中村龍之介、須藤正幸、有馬直道、谷文都、鬼束聡明、岡村浩昭、岩川哲夫、濱田季之/沖縄産ジャノメアメフラシ由来新規生物活性物質の探索/第 68 回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会/2024.10.26
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	市成駿太郎、濱田季之、鬼束聡明、岡村浩昭 / <i>Dihydronaphthalenelignan</i> 類の合成と生物活性の評価/第 68 回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会 /2024.10.26
理工学研究科 (理学系)	濱田 季之	Hinako Koze・Masayuki Sudoh・Satoaki Onitsuka・Hiroaki Okamura・Takeshi Ishikawa・Fumito Tani・Yukako Miyata Yabuki・Mikako Shirouzu・Masanori Baba・Mika Okamoto・Toshiyuki Hamada/Sulfoquinovosyl diacylglycerol (SODG), a component of holy basil <i>Ocimum tenuiflorum</i> , inhibits the activity of the SARS-CoV-2 main protease and viral replication in vitro/JSBBA WEST 7th Student Forum/2024.11.23
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	宮原 雄太、戸谷 匡康、門川 淳一/酵素触媒共重合によるグルコサミノ 2-デオキシグルカンの合成/第 73 回高分子学会 年次大会/口頭発表 (一般) /2024.6

所属	氏名	研究業績
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	石井颯人、戸谷 匡康、門川 淳一/ β -1,3-グルカンホスホリラーゼを用いる 2-デオキシ- β (1 \rightarrow 3)-グルカンの酵素合成/第 73 回高分子学会年次大会/ポスター発表/2024.6
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	宮原 雄太、戸谷 匡康、門川 淳一/グルコサミノ 2-デオキシグルカンの酵素合成と誘導体化/第 61 回化学関連支部合同九州大会/ポスター発表/2024.6.29
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	石井颯人、高垣太緒、戸谷 匡康、門川 淳一/ β -1,3-グルカンホスホリラーゼ酵素触媒重合による 2-デオキシ- β (1 \rightarrow 3)-グルカンの合成/第 61 回化学関連支部合同九州大会/ポスター発表/2024.6.29
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	門川淳一/ホスホリラーゼ酵素触媒重合による非天然型多糖の精密合成/第 73 回高分子討論会/口頭発表(一般)/2024.9
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	門川淳一/酵素触媒重合場での疎水性ポリマーに対するアミロースらせんの包接挙動の検討と超分子構築への展開/第 73 回高分子討論会/口頭発表(一般)/2024.9
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	宮原雄太・戸谷匡康・門川淳一/グルカンホスホリラーゼ酵素触媒重合による グルコサミノ 2-デオキシグルカンの合成 /CSJ 化学フェスタ 2024/ポスター発表/2024.10
理工学研究科 (工学系)	門川 淳一	石井颯人・高垣太緒・戸谷匡康・門川淳一/酵素触媒重合による 2-デオキシ- β (1 \rightarrow 3)-グルカンの合成/CSJ 化学フェスタ 2024/ポスター発表/2024.10
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	高山 優香、和田 詩帆、東 雅也、新地 浩之、隅田 泰生、若尾 雅広/オリゴ糖を用いた TLR7 リガンド-糖鎖複合体の合成と免疫増強活性評価/第 43 回日本糖質学会年会 日本糖質学会/ポスター発表 横浜市/2024.9.13
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	村田 光紀、加藤 健太郎、若尾 雅広、隅田 泰生、新地 浩之/レクチンプルダウン法による糖鎖-レクチン間相互作用解析 /第 43 回日本糖質学会年会 日本糖質学会/ポスター発表 横浜市/2024.9.13
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	Ryuji Takeichi, Koki Murata, Naohiro Hayakawa, Masahiro Wakao, Hiroyuki Shinchi/Influenza virus hemagglutinin-integrated nano-vaccine using Glyco-nanoadjuvant/9th Annual KU-NDSU Symposium/ポスター発表/2024.10.14
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	Taiki Yotsumoto, Masahiro Wakao, Hiroyuki Shinchi/Novel drug delivery system of doxorubicin using β -galactose immobilized gold nanoparticles/9th Annual KU-NDSU Symposium/ポスター発表/2024.10.14
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	Takato Yamasaki, Yutaro Mahara, Issa Fukuda, Masahiro Wakao, Hiroyuki Shinchi/Small molecule TLR4 ligand and sugar co-immobilized gold nanoparticles as a novel water-dispersible vaccine adjuvant/9th Annual KU-NDSU Symposium/ポスター発表/2024.10.14
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	Hiroyuki Shinchi/Glyco-nanoadjuvants: Drug delivery systems for toll-like receptor ligands using sugar chain-immobilized nanoparticles/9th Annual KU-NDSU Symposium/口頭発表(一般)/2024.10.15
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	村田 光紀、加藤 健太郎、若尾 雅広、隅田 泰生、新地 浩之/糖鎖固定化金ナノ粒子のレクチンプルダウン法への応用/第 97 回日本生化学会大会/ポスター発表 横浜市/2024.11.6

所属	氏名	研究業績
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	赤池 駿弥, 若尾 雅広, 隅田 泰生, 新地 浩之/TLR7 リガンド・糖鎖共固定化金ナノ粒子の免疫刺激活性に糖鎖構造および粒子径が影響する/第 97 回日本生化学会大会/ポスター発表 横浜市/2024.11.7
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	和田 詩帆, 村田 光紀, 新村 真由美, 若尾 雅広, 隅田 泰生, 諸石 寿朗, 新地 浩之/糖鎖固定化金ナノ粒子をキャリアに用いたペプチド・アジュバント一体型ワクチンの開発/第 97 回日本生化学会大会/ポスター発表 横浜市/2024.11.8
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	新村 麻由美, 坂本 泰久, 下田 真唯子, 原田 成美, 前田 英仁, 和田 詩帆, 村田 光紀, Saisai Liu, 大原 遥, 金森 耀平, 仁田 暁弘, 若尾 雅広, 新地 浩之, 諸石 寿朗/がん免疫療法の治療効果向上を目指した一体型糖鎖ナノワクチンの開発/第 47 回日本分子生物学会年会/ポスター発表/2024.11.27
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	山崎 天翔, 福田 一紗, 馬原 悠太郎, 新地 浩之, 若尾 雅広/合成 TLR4 リガンドおよび糖鎖固定化金ナノ粒子からなる新規水分散性アジュバントシステムの開発/日本化学会第 105 春季年会/ポスター発表/2025.3.28
理工学研究科 (工学系)	新地 浩之	堤 萌夏, 若尾 雅広, 新地 浩之/合成低分子 TLR7 リガンドを用いたナノ粒子アジュバントシステムの開発/日本化学会第 105 春季年会/ポスター発表/2025.3.28
理工学研究科 (工学系)	武井 孝行	永瀬優次、大角義浩、吉田昌弘、武井孝行/疎水化ゼラチン粒子の凝集による動物細胞のスキホールド内への均一固定/第 61 回化学関連支部合同九州大会/福岡県北九州市/2024.6.29
理工学研究科 (工学系)	武井 孝行	木許花菜/二枚貝の餌認識メカニズムを考慮した飼料マイクロカプセルの開発/第 61 回化学関連支部合同九州大会/福岡県北九州市/2024.6.29
理工学研究科 (工学系)	田巻 孝敬	日高 智貴, 田巻 孝敬/含酸素化合物生成へ向けた銅合金電極の開発/第 34 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会/ポスター発表 日本国/2024.7.20
理工学研究科 (工学系)	田巻 孝敬	片岡 宗真, 田巻 孝敬/銅のマイクロ・ナノ構造と CO ₂ DR 電解性能の関係解明/第 34 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会/ポスター発表 日本国/2024.7.20
理工学研究科 (工学系)	田巻 孝敬	田巻 孝敬/CO ₂ DR 電解による高選択エチレン生成へ向けた反応場設計/第 85 回応用物理学会 秋季学術講演会/口頭発表 (招待・特別) 日本国/2024.9.16
理工学研究科 (工学系)	田巻 孝敬	Takanori Tamaki, Naoki Matsuyama, Takahito Shibata, Kotaro Handa, Takeo Yamaguchi/Control of Reaction Environment for Selective Ethylene Production by Electrochemical CO ₂ DR Reduction/PRiME 2024 (Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid State Science)/口頭発表 (一般) アメリカ合衆国/2024.10.9

所属	氏名	研究業績
農学部	一谷 勝之	柴田 雪花, 片野 航貴, 高橋 龍成, 前田 幸暉浩, 田浦 悟, ヘンリー ロバート, 石川 隆二, 一谷 勝之/アジア栽培イネとオーストラリア野生イネとの雑種後代に見られる分離歪みの原因が花粉管伸長遺伝子の変異である可能性 Possible influence of pollen tube elongation gene variations on segregation distortion in cross progeny of Asian cultivated rice and Australian wild rice/日本育種学会第 146 回講演会 日本育種学会/ポスター発表/2024.9.20
農学部	坂尾 こず枝	Daigo Urakawa, De-Xing Hou, Kozue Sakao/Comparative analysis of acetylated flavonoids'chemopreventive effects on breast cancer/5 5th Food for Health International Conference & Life Science Symposium/国際学会・鹿児島大学・日本/2024.9.24
農学部	坂尾 こず枝	Hana Ishiba, Miyata Takeshi, De-Xing Hou, Kozue Sakao/Enhancing bioavailability and functional properties through the formation of delphinidin-bovine lactoferrin complexes/5th Food for Health International Conference & Life Science Symposium/国際学会・鹿児島大学・日本/2024.9.25
農学部	坂尾 こず枝	Shoma Kitagawa, De-Xing Hou Kozue Sakao/Mechanism of color reaction in black beans and evaluation of functional ingredients in traditional Japanese cooking methods/ 5th Food for Health International Conference & Life Science Symposium/国際学会・鹿児島大学・日本/2024.9.25
農学部	坂尾 こず枝	Kohei Omach, De-Xing Hou, Kozue Sakao/Structure-function correlation analysis of flavonoid-metal complexes for enhanced functional properties/5th Food for Health International Conference & Life Science Symposium/国際学会・鹿児島大学・日本/2024.9.25
農学部	坂巻 祥孝	酒井大輔・坂巻祥孝/Stenolechia 属と近縁属の分類学的再検討 (キバガ科) /日本鱗翅学会第 70 回大会 日本鱗誌学会/福岡市 日本国/2024.11.3
農学部	坂巻 祥孝	森本 遥・坂巻祥孝/露地ナス圃場へのオクラの植栽はフタテンミドリヒメヨコバイの発生を助長するのか? /第 104 回九州病害虫研究会 九州病害虫研究会/口頭発表 (一般) 熊本市 日本国/2025.2.6
農学部	清水 圭一	清水圭一・フィン トン フク・星野 敦・香西直子・橋本文雄/アサガオの形質転換系を利用した色素生合成遺伝子の機能解析/アサガオ研究集会・アサガオ研究集会世話人会/研究集会・京都府立大学・日本/2024.10.14
農学部	清水 圭一	嶋田雄太郎・清水圭一・フィン トン フク・橋本文雄/トルコギキョウの F3H 遺伝子に挿入されたトラスポゾンのゲノム編集とアンプリコンシーケンスによる解析/園芸学会令和 6 年度秋季大会・園芸学会/学会・沖縄県琉球大学・日本/2024.11.4
農学部	清水 圭一	フィン トン フク・元山ちひろ・清水圭一・星野 敦・橋本文雄/トルコギキョウの変異型 F3'5'H 遺伝子と DFR 遺伝子の共発現によるシアニン系アントシアニンの蓄積/園芸学会令和 6 年度秋季大会・園芸学会/学会・沖縄県琉球大学・日本/2024.11.4

所属	氏名	研究業績
農学部	玉置 尚徳	西谷篤、平松健太郎、門岡千尋、森一樹、奥津果優、吉崎由美子、高峯和則、田代康介、後藤正利、玉置尚徳、二神泰基/白麹菌 <i>Aspergillus luchuensis</i> mut. kawachii におけるヘテロクロマチンタンパク質 HP1 の解析/日本生物工学会/第 76 回日本生物工学会大会.東京工業大学大岡山キャンパス (東京都) /2024.9.10
農学部	玉置 尚徳	平松健太郎、森一樹、門岡千尋、奥津果優、吉崎由美子、高峯和則、田代康介、後藤正利、玉置尚徳、二神泰基/鯉節カビ <i>Aspergillus chevalieri</i> の生活環が変化する現象の解析/日本生物工学会/第 76 回日本生物工学会大会.東京工業大学大岡山キャンパス (東京都) /2024.9.10
農学部	玉置 尚徳	玉置尚徳/酵母におけるホスホリパーゼの機能解析/真核微生物交流会/第 24 回 真核微生物交流会、独立行政法人酒類総合研究所、東広島/2024.9.19
農学部	玉置 尚徳	玉置尚徳/焼酎酵母育種法の検討/清酒酵母・麹研究会/令和 6 年度清酒酵母・麹研究会、北とびあ第 1 研修室 (東京) /2024.10.7
農学部	玉置 尚徳	柳一菜、平松健太郎、門岡千尋、奥津果優、吉崎由美子、高峯和則、玉置尚徳、二神泰基/鯉節製造に用いられるカビの解析 (続報) /日本醸造学会/北トピア(東京都)/2024.10.9
農学部	濱中 大介	Mai Eguchi, Seishiro Ariyoshi, Satoshi Sekimoto, Daisuke Hamanaka/Combining effect of emulsifier with high pressure on the reduction of heat resistance and its recovery of bacterial spores/The 11th International Symposium on Machinery and Mechatronics for Agriculture and Biosystems Engineering (ISMAB 2024)/ポスター発表/2024.9.28
農学部	濱中 大介	Risa Kuramoto, Haruka Sameshima, Daisuke Hamanaka/Dynamic changes in bacterial flora diversity due to inter-varietal differences and ultraviolet irradiation during storage to tomato fruit/The 11th International Symposium on Machinery and Mechatronics for Agriculture and Biosystems Engineering (ISMAB 2024)/口頭発表 (一般) /2024.9.28
農学部	吉崎 由美子	宋駿平、奥津果優、木下礼瑞、吉崎由美子、二神泰基、玉置尚徳、鮫島吉廣、高峯和則/黒糖を用いた蒸留酒の酒質について/第 11 回国際酒文化・科学技術学術検討会/国際学会・哈爾濱・中国/2024.8.22
農学部	吉崎 由美子	野田涼風、吉崎由美子、奥津果優、二神泰基、玉置尚徳、高峯和則/製麹時蒸米水分が麹および焼酎に及ぼす影響/第 11 回国際酒文化・科学技術学術検討会/国際学会・哈爾濱・中国/2024.8.23
農学部	吉崎 由美子	二神泰基、西谷篤、平松健太郎、吉崎由美子、高峯和則、玉置尚徳/焼酎麹菌の酵素発現が麹の構造と発酵特性に及ぼす影響/第 11 回国際酒文化・科学技術学術検討会/口頭発表 (一般) 中国(ハルビン)/2024.8.23
農学部	吉崎 由美子	宋駿平、奥津果優、木下礼瑞、吉崎由美子、二神泰基、玉置尚徳、鮫島吉廣、高峯和則/製麹時蒸米水分が麹および焼酎に及ぼす影響/第 11 回国際酒文化・科学技術学術検討会/口頭発表 (一般) 中国(ハルビン)/2024.8.23

所属	氏名	研究業績
農学部	吉崎 由美子	竹内浩貴,伊川秀治,藤田剛嗣,河野邦晃,西谷篤,吉崎由美子,高峯和則/新品種モノテルペン高含有サツマイモを用いた芋麴が芋焼酎の酒質に及ぼす影響/令和6年度日本醸造学会大会/国内学会・東京・日本/2024.10.9
農学部	吉崎 由美子	渡邊瑞季,阿南裕太,吉崎由美子,二神泰基,玉置尚徳,高峯和則/新品種モノテルペン高含有サツマイモを用いた芋麴が芋焼酎の酒質に及ぼす影響/令和6年度日本醸造学会大会/口頭発表(一般) 東京/2024.10.9
農学部	吉崎 由美子	竹内浩貴,伊川秀治,藤田剛嗣,河野邦晃,西谷篤,吉崎由美子,高峯和則/製造時の紅茶の添加タイミングが紅茶焼酎の酒質に及ぼす影響/令和6年度日本醸造学会大会/口頭発表(一般) 東京/2024.10.9
農学部	M.C.M V E S T E R G A A R D	Mun'delanji C. Vestergaard, Xiaoxiao Zhang, Misato Kuroki, Jane Tadal Kachigunda and Yuki Nishida/Copper Nanostructures as Antibacterial Agents, and Modulators of Amyloid Beta Assembly/IEEE NANOMED 2024 IEEE/口頭発表(一般) アメリカ合衆国/2024.12.2
共同獣医学部	宇野 泰広	宇野泰広,山崎浩史/イヌ、ブタ、カニクイザル、ツパイにおけるチトクロム P450 の同定・解析/第51回日本毒性学会学術年会/福岡/2024.7.3
共同獣医学部	中馬猛久	○Saki Hiramoto, George Sanga, Rika Miyajima, Yukio Morita, Takehisa Chuma./Investigation of Campylobacter jejuni and other foodborne bacteria in raw chicken livers and their insides./The 22nd International Workshop on Campylobacter, Helicobacter & Related Organisms. Barry Marshall/ポスター発表 オーストラリア連邦/2024.10.7
共同獣医学部	中馬猛久	Sota Kobayashi, Tetsuo Asai, Takehisa Chuma, Shotaro Maehana, Kazuaki Takehara, Ryoko Uemura/On-farm trials to evaluate the effectiveness of the improved farm hygiene management to reduce of the antimicrobial resistance. /17th International Symposium on Veterinary Epidemiology and Economics./ICC Sydney, Australia./2024.11.11
共同獣医学部	中馬猛久	○Sota Kobayashi, Tetsuo Asai, Takehisa Chuma, Shotaro Maehana, Kazuaki Takehara, Ryoko Uemura/On-farm trials to evaluate the effectiveness of the improved farm hygiene management to reduce of the antimicrobial resistance. /17th International Symposium on Veterinary Epidemiology and Economics. ANZCVS Epidemiology Chapter/口頭発表(一般)/2024.11.11
水産学部	田角 聡志	K M Shakil Rana, Takanori Sonoda, Susumu Ohtsuka, Tomonari Kotani, Daisuke Ueno, Satoshi Tasumi/Tracking chemosensory genes in sea louse #ICaligus fugu#IR by expression profiling using de novo assembled transcriptome, an attempt to comprehend host recognition mechanism of the parasite/15th International Conference on Copepoda World Association of Copepologists/口頭発表(一般) 広島 日本国/2024.6.4
水産学部	田角 聡志	佐藤楽生・岡田侑樹・田角聡志・加藤楓華・末廣南実・水野直樹・菊池潔/フコース転移酵素7の魚類免疫系における役割の解明へ向けた遺伝子編集魚の作出/日本水産学会春季大会/2025.3.28

■ その他（受賞、その他発表など）

所属	氏名	研究業績
理工学研究科 （理学系）	九町 健一	長瀬科学技術振興財団/長瀬研究振興賞/2024.4
理工学研究科 （理学系）	濱田 季之	物質・デバイス領域共同研究拠点/第7回物質・デバイス共同研究賞/2025.3
農学部	二神 泰基	西谷篤, 二神泰基/白麹菌における新規な有機酸排出トランスポーターの探索 Exploration of organic acid exporters in the white koji fungus/アグリバイオ/8,4,-/2024
農学部	二神 泰基	平松健太郎、門岡千尋、奥津果優、吉崎由美子、高峯和則、二神泰基、玉置尚徳/イオンビームにより取得した黒麹菌のクエン酸低生産株 BM40 の解析/第46回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム要旨集/2024.9.27

6. 規則集

○鹿児島大学先端科学推進センター組織規則

令和4年2月17日

規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号)第7条第2項の規定に基づき、鹿児島大学先端科学研究推進センター(以下「センター」という。)の組織に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、鹿児島大学(以下「本学」という。)における動物実験、遺伝子実験及び放射性同位元素等を活用した教育研究を支援するとともに、高度先端研究機器・設備の一元的管理・運営及び新興・再興ウイルス感染症に対する高度な研究・教育活動等を行い、地域課題の解決につながる研究及び先進的感染制御等の国際レベルの研究による地域への貢献等を推進することで、もって先端的生命科学・自然科学系の教育・研究の進展に資することを目的とする。

(ユニット及び部門)

第3条 センターに、次に掲げるユニット及び部門を置く。

(1) 生命科学動物実験ユニット

動物管理・小動物研究推進部門

大動物研究推進部門

(2) 研究支援ユニット

遺伝子実験部門

機器分析部門

アイソトープ実験部門

(3) 感染制御研究ユニット

感染制御研究部門

(運営委員会)

第4条 センターの運営に関する重要事項を審議するため、鹿児島大学先端科学研究推進センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置く。

2 運営委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(職員)

第5条 センターに、次に掲げる職員を置く。

(1) センター長

(2) 各ユニット長

(3) 各部門長

(4) 専任教員

(5) その他必要な職員

(職務)

第6条 センター長は、センターの業務を掌握する。

2 各ユニット長は、各ユニットの業務を総括管理し、センター長の職務を補佐する。

3 前条3号、第4号及び第5号の職員は、センター長の命を受け、センターの業務に従事する。

(センター長等)

第7条 センター長は、本学の専任の教授のうちから、学長が選考する。

2 各ユニット長は、本学の専任の教授、当該ユニットの専任又は特任の教授又は准教授のうちからセンター長が推薦し、学長が選考する。

3 各部門長は、本学の専任の教授、当該部門の専任又は特任の教授又は准教授のうちからセンター長が選考する。

4 第2項のユニット長は、第3項の部門長を兼ねることができる。

5 センター長、ユニット長及び部門長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠のセンター長及びユニット長の任期は、前任者の残任期間とする。

(兼務教員)

第8条 センターに兼務教員を置くことができる。

2 兼務教員は、所属学系長を経て申し出のあった者について、学長が兼務を命ずる。

3 兼務教員は、第3条各号のいずれかのユニットに属し、当該ユニットの業務を処理する。

4 兼務教員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(協力研究者)

第9条 センターに学外の協力研究者を置くことができる。

2 協力研究者は、運営委員会の議を経て、センター長が委嘱する。

(事務)

第10条 センターに関する事務は、研究推進部研究協力課において処理する。

(雑則)

第11条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

2 鹿児島大学医用ミニブタ・先端医療開発研究センター組織規則(令和2年研機規則第5号)及び鹿児島大学研究支援センター組織規則(平成31年研機規則第1号)は、廃止する。

○鹿児島大学先端科学研究推進センター運営委員会規則

令和4年2月17日

規則第16号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学先端科学研究推進センター組織規則(令和4年規則第15号)第4条第2項の規定に基づき、鹿児島大学先端科学研究推進センター運営委員会(以下「委員会」という。)に関し、必要な事項を定める。

(組織)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 先端科学研究推進センター長(以下「センター長」という。)

(2) 先端科学研究推進センター(以下「センター」という。)のユニット長

(3) センターの部門長

(4) センターの専任教員

(5) 各学部及び各研究科(大学院臨床心理学研究科を除く。)の教授、准教授又は講師のうちから選出された者 各1名

(6) 研究推進部長

(7) その他委員会が必要と認めた者

2 前項第5号及び第7号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

(1) センターの運営の基本方針及びセンターの分野の設置、廃止等組織編成に関すること。

(2) センターの施設及び設備の整備並びにその利用に関すること。

(3) センターの諸規則の制定改廃に関すること。

(4) センターの中期計画・中期目標及び評価に関すること。

(5) 予算に関すること。

(6) 概算要求に関すること。

(7) その他センターの管理・運営に関すること。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席により成立し、議事は、出席委員の過半数により決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(代理出席)

第6条 委員が事故のため出席できないときは、代理の者を出席させることができる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、研究推進部研究協力課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

2 鹿児島大学医用ミニブタ・先端医療開発研究センター運営委員会規則(令和2年研機規則第6号)及び鹿児島大学研究支援センター運営委員会規則(平成31年研機規則第2号)は、廃止する。

附 則

この規則は、令和5年2月16日から施行する。

○鹿児島大学先端科学研究推進センター利用料金規則

令和4年4月1日
先セ規則第1号

(趣旨)

第1条 鹿児島大学先端科学研究推進センター(以下「センター」という。)の利用料金は、この規則の定めるところによる。

(利用者)

第2条 センターの利用者は、次のとおりとする。

- (1) 本学職員及び学生
- (2) 国内に所在する大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関等の教育研究機関、国及び地方公共団体の直轄研究機関並びに本学職員との共同研究に参加している企業に所属する研究者
- (3) 前2号以外の者

(利用方法)

第3条 機器の利用方法は、次のとおりとする。

- (1) 利用者本人による操作(以下「本人分析」という。)
- (2) センターの職員による操作(以下「依頼分析」という。)

(登録)

第4条 センターの利用を希望する者は、あらかじめセンターの各部門が定める利用内規等に従って登録しなければならない。

(利用料金)

第5条 センターの利用料金は、次のとおりとする。

- (1) 部門利用登録料
- (2) 機器利用料
- (3) 実験室等利用料
- (4) 動物飼育料
- (5) 動物焼却料
- (6) 動物実験酸素使用料
- (7) 動物実験 EOG 滅菌料
- (8) 生殖工学サービス料
- (9) アイソトープサービス料
- (10) 遺伝子実験依頼分析サービス料
- (11) マウス、ラット動物実験サービス料
- (12) 消耗品使用料

2 利用者は別表に定める利用料金を支払わなければならない。

3 第1項第2号の機器利用料は、次のとおりとする。

- (1) 第2条第1号及び第2号の利用者が本人分析を行う場合の機器利用料は、別表第2のとおりとする。
- (2) 第2条第1号及び第2号の利用者が依頼分析を行う場合の機器利用料は、別表第2の利用料金に次の計算式により算定した技術料を加算した額を徴するものとする。ただし、エッチング及びメンテナンスキットについては、技術料を加算しないものとする。

技術料計算式

$$1,700 \text{ 円(技術職員 1 時間単価相当)} \times \text{所要時間} \times \text{担当人員}$$

- (3) 第2条第3号の利用者の機器利用料は、利用方法にかかわらず、別表第2の利用料金に1.3を乗じた額に、前号の計算式により算定した技術料を加算した額を徴するものとする。ただし、エッチング及びメンテナンスキットについては、技術料を加算しないものとする。

4 第1項第3号の実験室等利用料については、1つの実験室等を複数の利用者が利用する場合は、利用面積の割合を乗じた額をそれぞれ徴するものとする。

- 5 第2項の規定にかかわらず、第2条第2号及び第3号の利用者の第1項第3号の実験室等利用料は、国立大学法人鹿児島大学不動産管理規程(平成16年規則第77号)によるものとする。
- 6 第2条第2号及び第3号の利用者の第1項第1号の部門利用登録料、第8号の生殖工学サービス料、第9号のアイソトープサービス料、第10号の遺伝子実験依頼分析サービス料、第11号のマウス、ラット動物実験サービス料及び第12号の消耗品使用料は、利用料金に1.3を乗じた額とする。

附 則

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 鹿児島大学研究支援センター利用料金規則(平成29年研機規則第3号)は、廃止する。

附 則

この規則は、令和4年8月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年12月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1(第5条関係) (抄)

部門利用登録料

(単位：円)

ユニット・部門名	
研究支援ユニット遺伝子実験部門	1,000/年度

別表第2(第5条関係) (抄)

機器利用料

No.	装置名	金額(円)	単位
54	質量分析装置	1,600	/時間
55	発光画像撮影装置	300	/回
56	リアルタイムPCR	250	/時間
57	超遠心機	400	/時間
58	蛍光顕微鏡	450	/時間
59	レーザーマイクロダイゼクション	200	/時間
60	マルチプレートリーダー	500	/時間
61	マルチプレックスサスペンションアレイ	500	/時間
62	フレキシブルマイクロプレートリーダー	500	/時間
63	マイクロチップ電気泳動装置	10	/サンプル
64	組換えタンパク質・抗体自動分取システム	120	/回
65	多目的クロマトグラフィーシステム	150	/時間
66	バイオマルチインキュベータ	1,110	/月
67	全自動二次元電気泳動装置	400	/時間

No.	装置名	金額(円)	単位
68	二次元電気泳動ゲルピッカー	250	/時間
69	人工気象器	3,460	/月
70	超低温フリーザー	350	/月
71	質量分析 ターゲット Ground	1,000	/回
72	質量分析 ターゲット Polished	1,000	/回
73	質量分析 ターゲット AnchorChip	1,000	/回
74	二次元電気泳動 [電極チップ]	1,000	/回
75	電気泳動ゲル撮影装置	44	/回
76	大型高速冷却遠心機	407	/時間

別表第 3(第 5 条関係) (抄)

実験室等利用料

No.	実験室名	金額(円)	単位	備考
1	共同利用実験室	1,800	/月	A 利用 占有利用
		900	/月	B 利用 実験時のみ実験台利用
2	植物培養実験室	4,000	/月	
3	動物培養室	4,000	/1/3 室/月	
4	微生物培養室	1,900	/1/3 室/月	
5	高度遺伝子改変室	4,700	/1/2 室/月	

別表第 10(第 5 条関係) (抄)

遺伝子実験依頼分析サービス料

区分	形態	金額(円)	単位
DNA 塩基配列解析	—	295	/サンプル
DNA フラグメント解析	16 サンプル	4,720	/回
	24 サンプル	7,080	/回
LC-MALDI 解析用前処理	—	12,000	/サンプル
高速液体クロマトグラフ解析	有機酸分析	657	/サンプル
	アミノ酸分析	794	/サンプル
	糖分析	589	/サンプル
	汎用分析	573	/サンプル
	カラム持込分析	531	/サンプル

別表第 12(第 5 条関係) (抄)

消耗品使用料

No.	消耗品名	金額(円)	単位	関係装置
39	DNA シークエンス BD3.1	9,431	50 μ l	DNA 塩基配列解析
40	DNA シークエンス 精製キット	27,209	100 反応量	
41	DNA シークエンス ×5 バッファー	651	75 μ l	
42	DNA シークエンス 脱ホルムアミド	223	500 μ l	
43	質量分析 ペプチド較正標準液 II	16,588	/本	質量分析装置
44	質量分析 タンパク較正標準液 I	15,048	/本	
45	質量分析 タンパク較正標準液 II	15,048	/本	
46	質量分析 マトリクス HCCA	8,932	/本	
47	質量分析 マトリクス SA	15,554	/本	
48	質量分析 マトリクス 2, 5-DHB	6,248	/本	
49	質量分析 イメージング スライド	1,980	/枚	
50	質量分析 イメージング カバースリップ	132	/枚	
51	質量分析 脱塩・濃縮チップ	2,847	/6 本	
52	二次元電気泳動 溶液チップ	1,080	/個	
53	等電点電気泳動 電極用ろ紙	870	/回	等電点電気泳動
54	等電点電気泳動 試料塗布用ろ紙	980	/回	
55	等電点電気泳動 シリコンオイル	4,860	/回	
56	等電点電気泳動 ゲルストリップ膨潤器	950	/回	
57	遺伝子導入 キュベット 1mm	700	/個	遺伝子導入装置
58	遺伝子導入 キュベット 2mm	700	/個	
59	遺伝子導入 キュベット 80-800 μ l	380	/個	
60	超遠心機 チューブ 1.5ml	31	/本	超遠心機
61	超遠心機 チューブ 4.7ml	470	/本	
62	超遠心機 PA チューブ 2.2mL	470	/本	
63	リアルタイム PCR プレート	5,830	/10 枚	リアルタイム PCR
64	リアルタイム PCR フィルム	2,080	/5 枚	
65	マイクロチップ電気泳動 バッファー	1,850	/本	マイクロチップ電気泳動装置
66	電気泳動ゲル撮影 プリント用紙	24	/枚	電気泳動ゲル撮影装置
67	記録媒体 CD-R	30	/枚	CD 装置付属 PC



CASRaP

先端科学研究推進センター

D G R

DIVISION OF GENE RESEARCH

鹿児島大学

遺伝子実験部門 年報第 21 号 (2024 年度)

発行 2026 年 4 月

編集 鹿児島大学 先端科学研究推進センター

研究支援ユニット 遺伝子実験部門

〒890-0065 鹿児島市郡元 1 丁目 21 番 24 号

電話 099-285-3581 FAX 099-285-3582